

校長の想い3月

## 己を知って、己を可愛がれ

年度末がやって来ました。この1年間、島民の方々や生徒諸君、そして毎月この校長の想いに目を通してくださっている皆様には大変お世話になりました。

「彼を知り己を知れば百戦危うからず」

これは皆さんもご存じのとおり紀元前5世紀に、中国春秋時代に書かれた「孫子」という兵法書の一節にあるものです。

兵法書ですから、敵も味方も情勢をしっかり把握していれば、幾度戦っても敗れることはないということですが、現在ではその考え方が、自分自身をしっかり把握することができれば、自信を持って採用試験に臨むことができるというように進路活動にも応用されています。

つまり、自分の事を把握しなければ「百戦危うし」ということになる訳です。

それならば、自分を把握しようとする訳ですが、自分のことを知ろうとしているうちに「何故、自分はこのようなことが出来ないのだ」と自分を責める人がいます。

自分を自分で責めてしまっは、これこそ「百戦危うし」です。

「百戦危うからず」となるには、自分が出来ないところを知って、練習して出来るようになればよいので、悩んだり、追い込んだり、責めたりすることはありません。

私も出来ないことはたくさんあります。それでも時には自分で自分を励ましたり、うまくいくことがあれば自分にご褒美をあげたりしています。

是非とも、自分のことを可愛がることも忘れないでください。

また、新年度もよろしく願いいたします。